

- 開会
- 校長あいさつ
- 委員・事務局自己紹介
- 委員長あいさつ
- 学校紹介ビデオ視聴

○協議

①「本校の学校経営計画」について

(校長) 生徒にとって、先生にとって、地域にとっての学校のあるべき姿を考え計画した。

昨年度の自己診断の結果、委員の意見も反映した。生徒の規則正しい生活が就労につながると考えている、言葉づかい、身だしなみ等にも重点をおいている。生徒たちが先生ともっと話をしたいという意見があったので、地域支援部を中心にカウンセリングタイムなどを設定してもらった。新転任の先生方にも、企業での研修を予定しており、生徒たちにとって一番身近な社会人として、見本、手本になるようにがんばってもらっている。

(委員) 校長より3つの点についてあげられたがそれぞれの内容について教育活動の充実について、PTAとしてどうか

(委員) あまり伝わってきていない。保護者同士で話たり、自分の子どもと話したことで、先生の言葉でやる気をなくすこともあると言っている。授業内容では、学校からもこういうことをしていると知らせてほしい。

(委員) 生活習慣については、なぜこの時間に寝ないといけないのか、なぜ言葉使いに気をつけないといけないのかを、ビジネスマナーなどで教えていく必要がある。

(事務局) 進路の取り組みとして外部講師を迎え年3回ほどマナー講習等を実施している。また、ライフデザインの授業を通して、生活から就労に向けての取り組みをしている。

(委員) もっと家庭に発信していけば、重要な内容なので、実践の評価など協議会に出してもらえたら。教員の資質向上については企業研修の取り組みをあげられたが。

(校長) 昨年度から実施している。企業を経験している教員には、就労移行などに行ってもらい、生徒がどのように就労をめざすのか体験してもらっている

(委員) 教員に気づきが必要なのでは？

(委員) 難しいと思う。企業を一度経験することで、ベースを知っていればよい。

先生は先生。先生の立場として反省会等でよい指導をしてあげればよい。

企業へ企業へというより、生徒の実習でのつまづきや気づきを、学校で指導してあげるスタンスでいい。企業は企業ごとのやり方があるから。子どもは企業のかたから教えてもらうことができる。

(校長) 企業には一人3日間の研修をお願いしている。

(委員) 先生にとっても「良かった」と思える取り組みになれば良いと思う。

地域との連携は？

(校長) とりかいナスの品評会で「特別賞」を頂いた。生徒も喜んでいた。

(委員) 私の住む地域では、近くの農業されている方と関わり、大阪もの野菜を作ったりしているが。

(委員) 地域はおっちゃん・おじいちゃんが多いので、相談しやすい。

見回り隊をしているが、最初、挨拶する子は1割、2割。目を覗き込むように挨拶してやっと増えてきた。子どもの目線で聞いてあげることが大切。

(委員) 地域と触れ合うことが大切とされている。そのあたりをもっとやれば。2回目の協議会で進捗状況をお願いしたい。

## ②使用教科書選定について

(教頭) 検定本の採択について、特別支援学校については、検定本、それ以外、一般図書など自由に選べることになっている。最終認定は、大阪府教育委員会になっている。

～委員閲覧～

## ③授業参観アンケートについて

(教頭) 生徒を対象にマークシート形式のもので年2回行っている。

保護者にはアンケートに感想を書いてもらう形式（日曜参観；授業参観など）

好意的な意見が多く、3分の1の数をいただいた。詳細については、次回の協議会で報告します。

事務局の提案により：委員の皆様へアビリンピックの練習を見学していただく。

＊感想＊

(委員) しっかりやっている。地域の方々もどんどん入ってこられる環境があればいい。

(委員) 「ここは何時までやってんの？」という聞き方でも、丁寧に対応できていた。「たばこ吸うていいか」と質問したら「先生にきいてきます」と答えてくれた。

(委員) 緊張の中にも、笑顔があってよかった。

(委員) 他の学校にも言われたが、とりかいの喫茶設備はいいと言われた。

(委員) 施設・設備は大切。明確に就労をめざした教育目標にそった学校であることの理解が必要。

④ 2期生の進路状況については次回

(委員) 進路状況と進路学習について興味がある。気づき、自己認知・SST、余暇まで含めたトータル的なもの、プログラム化する必要がある。社会に送り出すため、人との関わり、生きていくための力、など働く事だけではだめであると思う。

○本日のまとめと終わりの挨拶

次回は10月20日(金)を予定している